

口での検温方法

- ① 舌の裏の奥にあるスジのすぐ横に体温計の先端をあてます。



舌下のいちばん奥にある舌小帯の両側が正しい位置です。
ここに体温計の先端があたるようにして差し入れ、口をしつかり閉じます。



- ② 口をしつかり閉じます。



(実測式の体温計なら約5分以上、予測式なら電子音が鳴るまでじっとしています。)

- ・測温部が動かないように、体温計を指で支えてください。
- ・測定中は口を開けず、鼻で呼吸してください(会話も避けてください)。

測る前の注意

飲食や入浴、運動などをした後および外出後の30分間は検温に適しませんので避けてください。

検温中の注意

検温中は動かずじっとしているのが基本です。

測定時間

体温計によって測定方式が異なるため、測定時間も違います。